FaN
Fukuoka Art Next

News Release

令和8年11月16日

市政記者各位

「Fukuoka Art Next」今月のアート（11月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、市民が身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進しています。

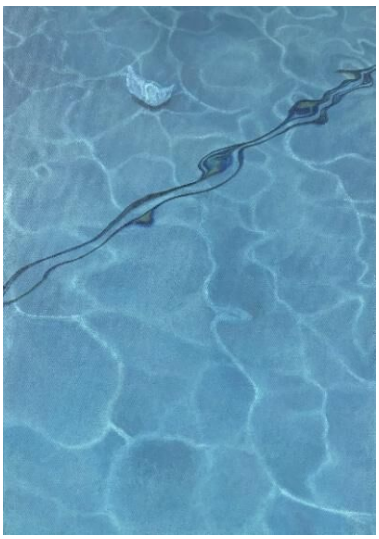
その事業の一環として、奇数月初めの定例会見に、福岡で活躍しているアーティストの作品を紹介します。

■アーティストについて

金子水音（かねこ　みね）

2005年神奈川県生まれ。福岡市在住。小学生の時、作者は、プールに入っていると、水が段々ぬるくなり自分と同化していくような感覚を味わった。その時の、世界の輪郭がぼやけていく不安と安らぎの感覚を表現するため、身近にあるものと、それがあるはずのない風景を組み合わせて描いている。「Fukuoka Wall Art Project 2025」優秀賞受賞。

■作品について



作家名　：金子水音
作品名　：沈思
制作年　：2026年
材質技法：アクリル・キャンバス
サイズ　：51.5×36.4（cm）

光が差す中で、水の揺らめきが美しく、爽やかな印象を与える作品です。しかし、よく見ると、プールの底には一つの餃子がひっそりと沈んでいます。
タイトルは《沈思》です。静謐な水底で物思いにふけるのは、餃子でしょうか。それとも、餃子とプールという組み合わせに不思議さを感じる私たちでしょうか。
作者は、身近にありながら結びつかないモチーフを組み合わせたシュールな絵を通して、見る人が自由に想像をふくらませることを期待しています。

【お問い合わせ先】
経済観光文化局美術館学芸課　担当：花田
TEL：714-6054　FAX：714-6145
E-mail：hanada.m19@city.fukuoka.lg.jp